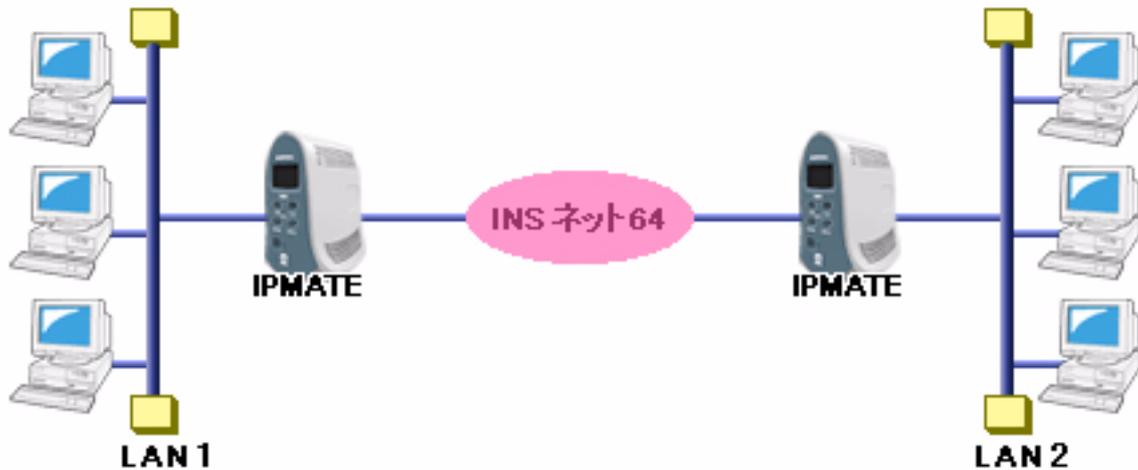


5.INS ネット 64 を使用して、2ヶ所の LAN を接続する

2ヶ所の LAN を、INS ネット 64 を用いて接続します。



■設定のポイント

- ・ 設定用のパソコンを1台決め、WWWブラウザによる設定を行います。
- ・ 本商品のLAN側IPアドレス、サブネットマスクを既存LANに合わせて変更します。相手のLANのネットワークアドレスとは異なる値にします。
- ・ 相手側の電話番号を設定します。また、相手側に合わせて、ユーザID、認証パスワード、相手ユーザID、相手パスワードを設定します。
- ・ デフォルトルートとしない設定とし、スタティックルート情報として、相手のLANを指定します。
- ・ 既存LANにDHCPサーバがある場合は、本商品のDHCPサーバ機能を「使用しない」設定にします。

■動作条件

LAN1 を構築

- ・ LAN1側のネットワーク：192.168.1.0/24

LAN2 を構築

- ・ LAN2側のネットワーク：192.168.2.0/24

LAN1側の端末とLAN2側の端末をWindowsの共有機能を用いて資源を共有する

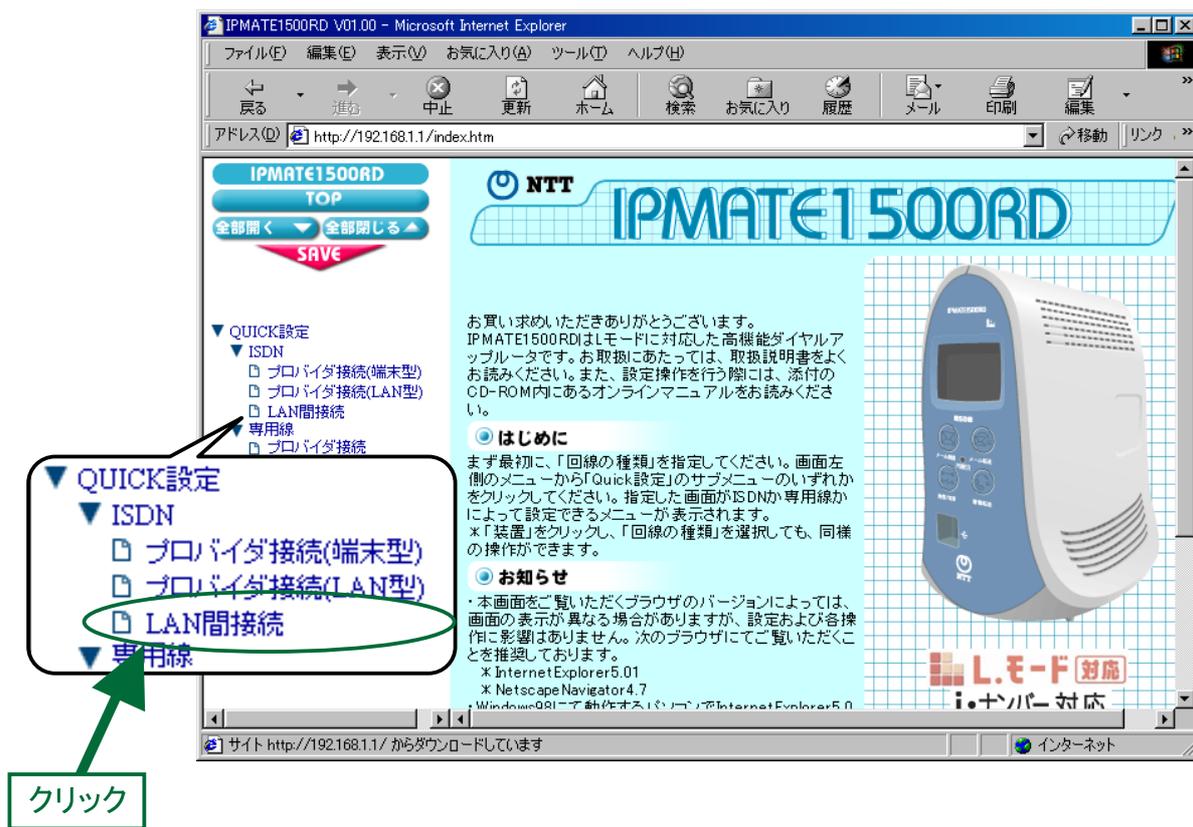
- ・ 各端末への設定

■設定例

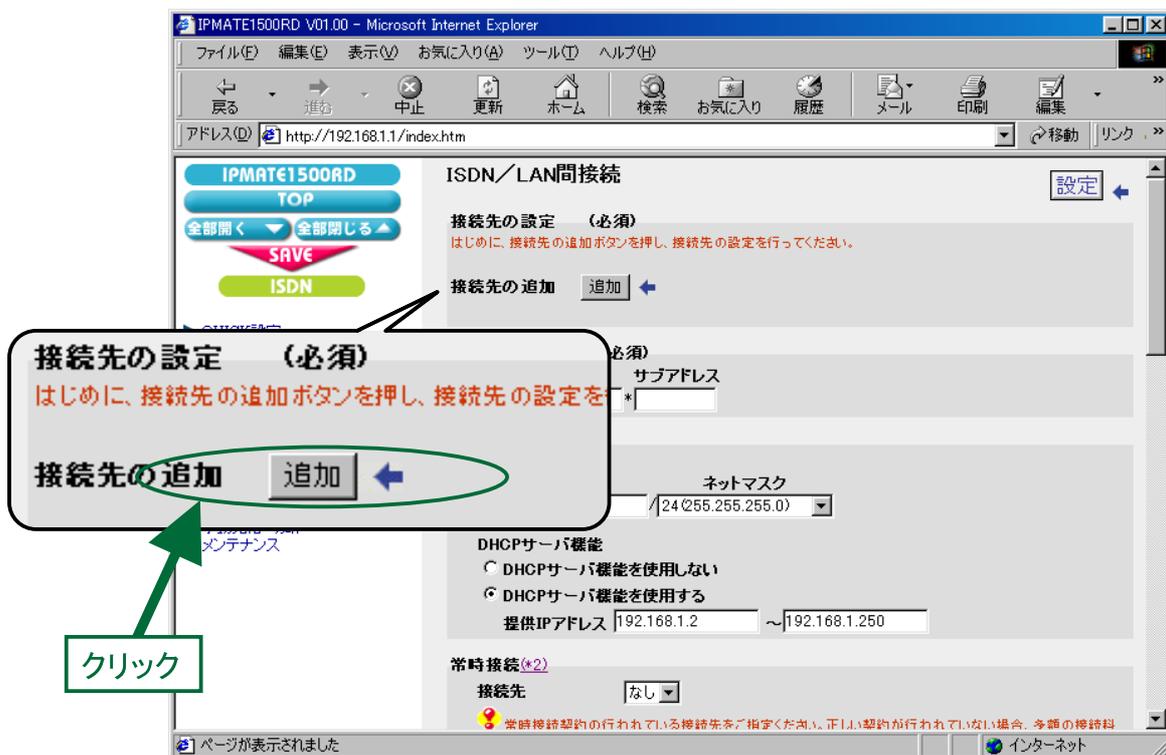
●LAN1側の設定

1. 設定用のパソコンを1台決め、パソコンを本商品に接続します。
WWWブラウザを起動したのち、本商品にログインします。

2. TOP ページが表示されます。
LAN2 への接続先の設定を行います。
「QUICK 設定」メニューより「ISDN / LAN 間接続」画面をクリックします。



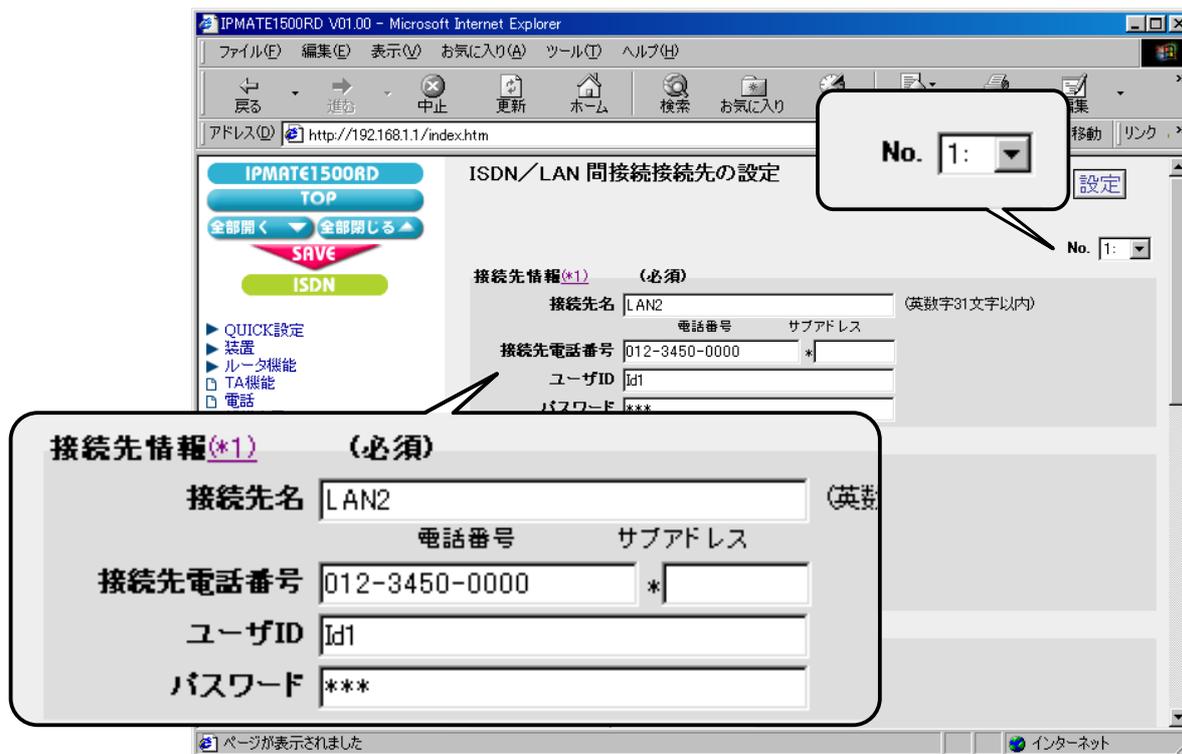
3. 「ISDN / LAN 間接続」画面が表示されます。
接続先を登録します。「接続先の設定」で [追加] ボタンをクリックします。



4. 「ISDN / LAN 間接続接続先の設定」画面が表示されます。
次の項目を設定します。

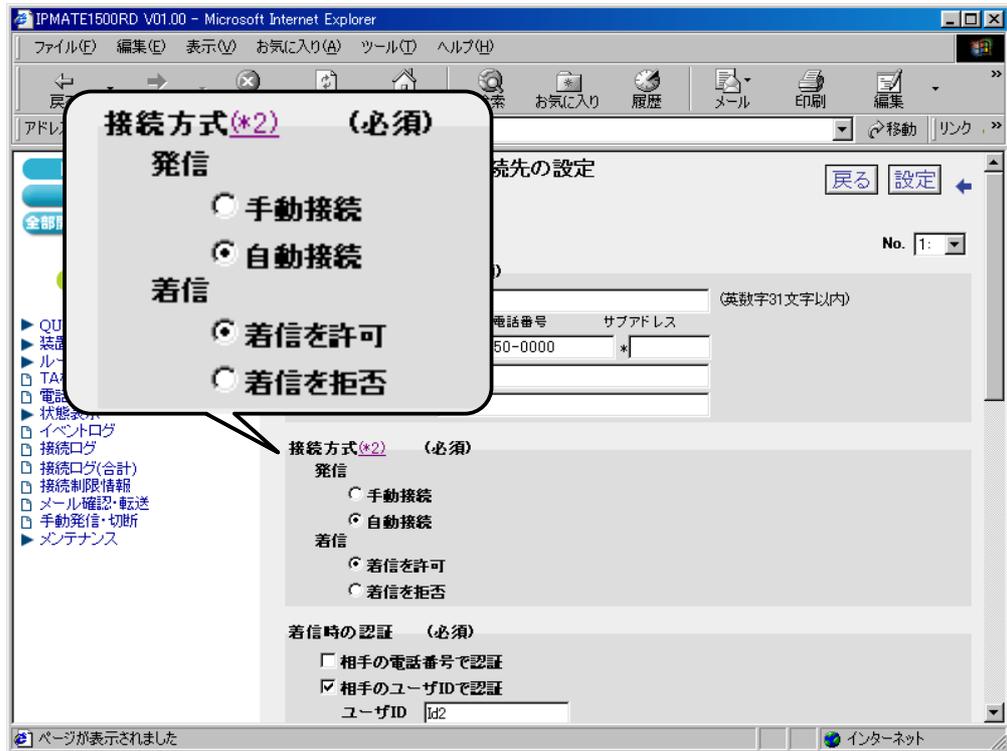
(1) 接続先情報

項目	設定例	備考
No	No1	
接続先名	LAN2	任意の名前を設定します。
接続先電話番号	012-3450-0000	LAN2 とあわせて設定してください。
ユーザID	Id1	
パスワード	Pw1	



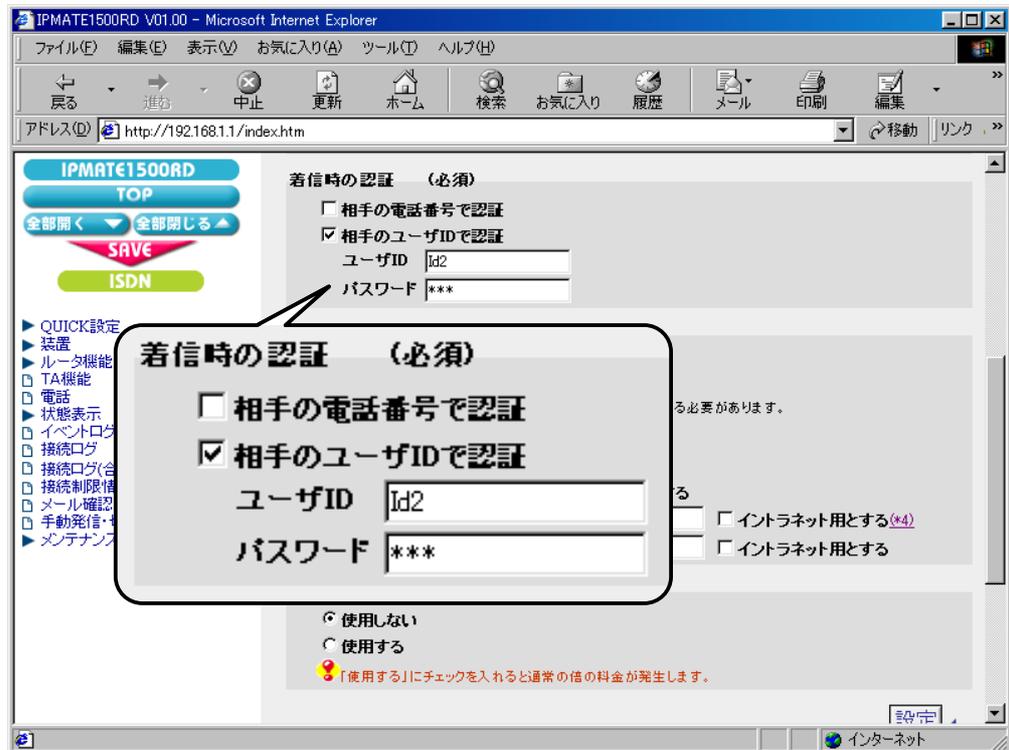
(2) 接続方式

項目	設定例	備考
接続方式 発信	自動接続	
接続方式 着信	着信を許可	



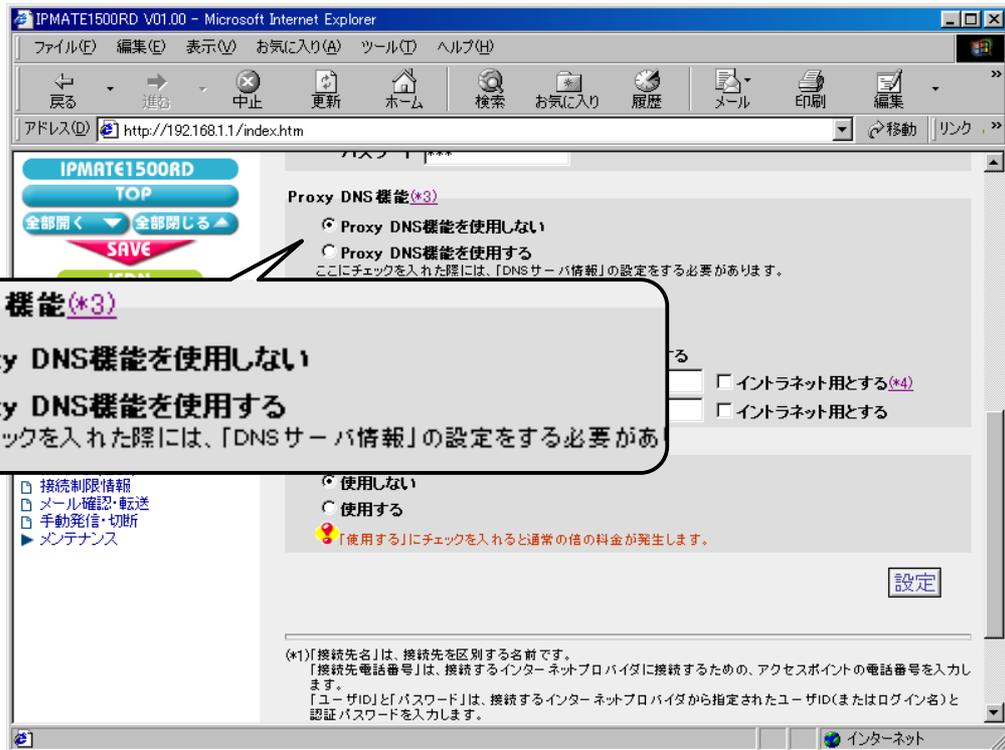
(3) 着信時の認証

項目	設定例	備考
相手の電話番号で認証	チェックしない	LAN2 とあわせて設定します。
相手のユーザ ID で認証	チェックする	
ユーザ ID	Id2	
パスワード	Pw2	



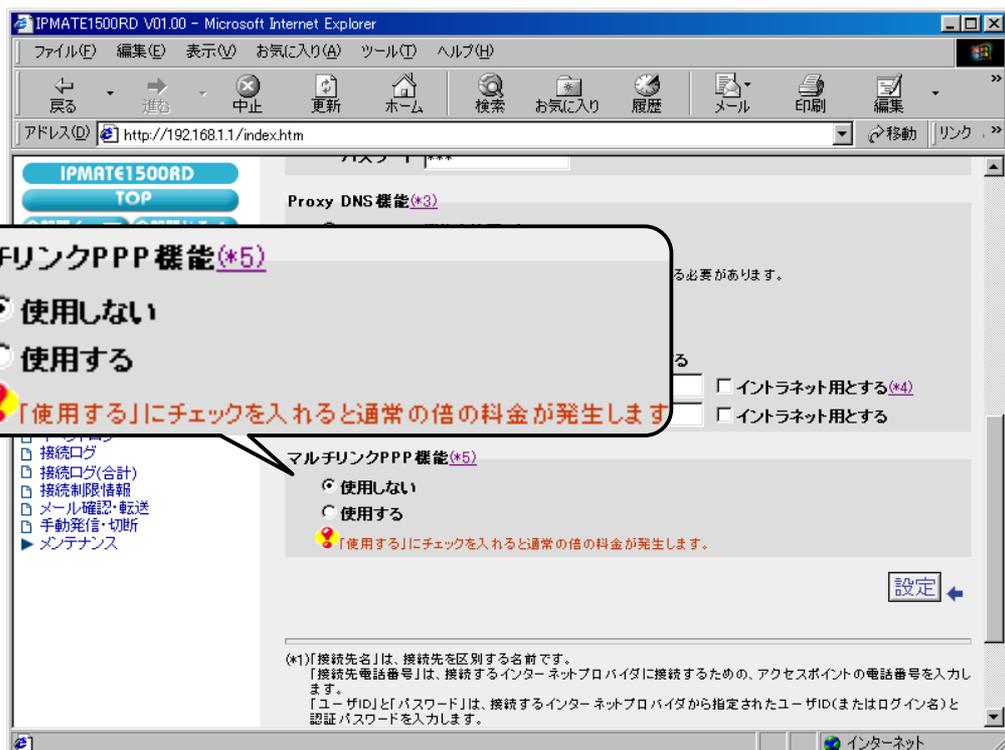
(4) Proxy DNS 機能

項目	設定例	備考
Proxy DNS 機能を使用しない	チェックする	

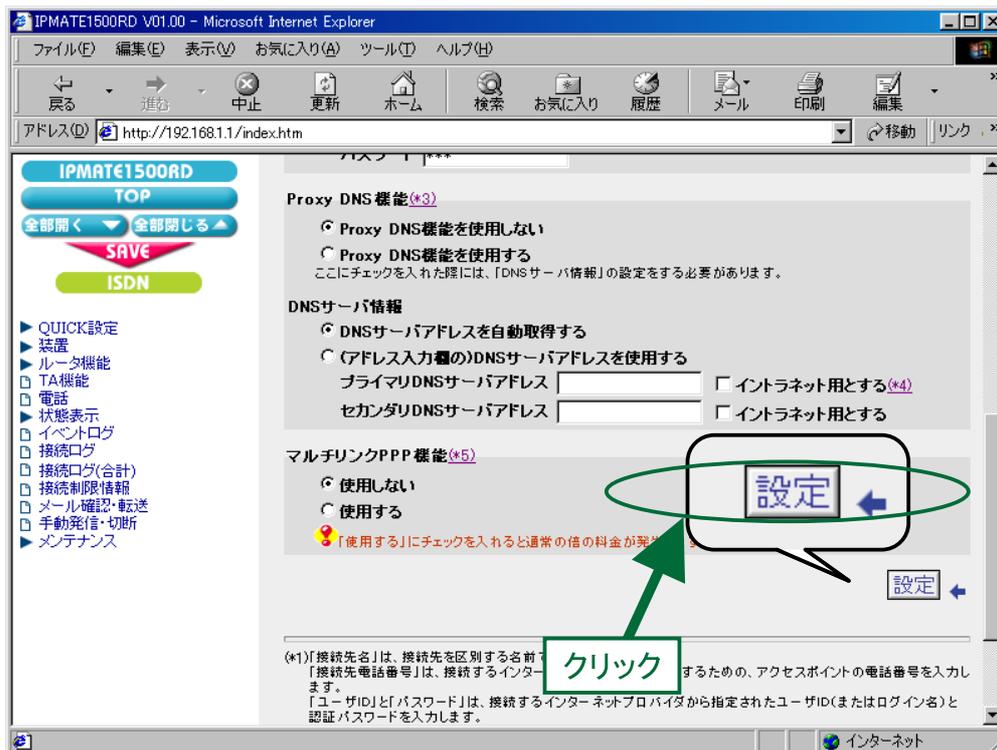


(5) マルチリンク PPP 機能

項目	設定例	備考
マルチリンク PPP 機能	使用しない	

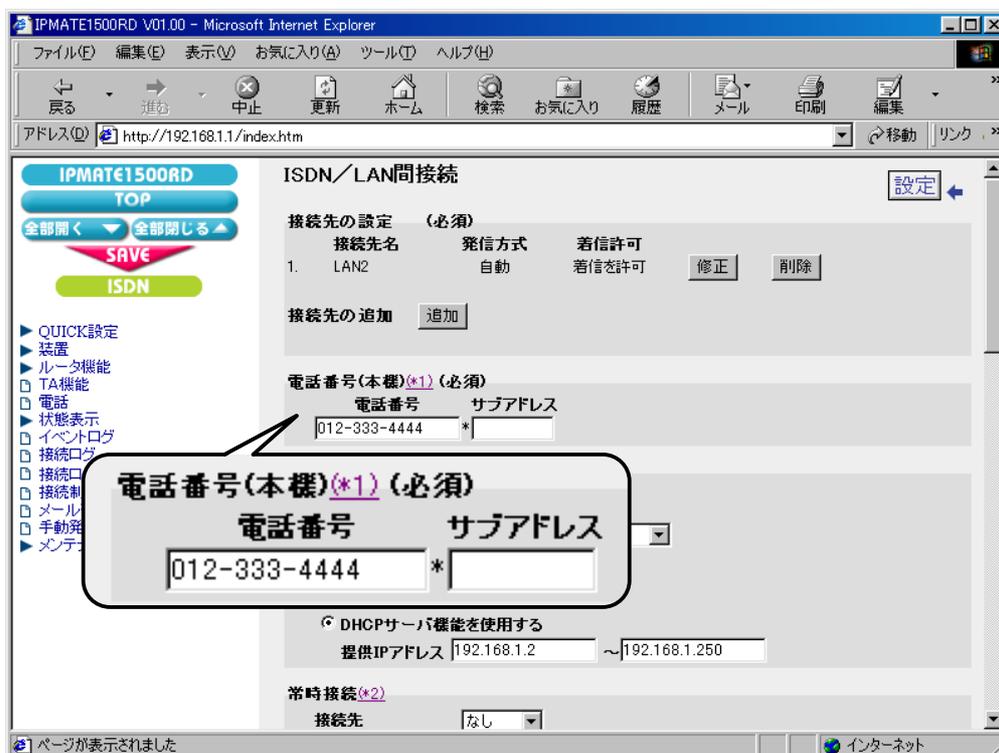


5. 「設定」ボタンをクリックします。



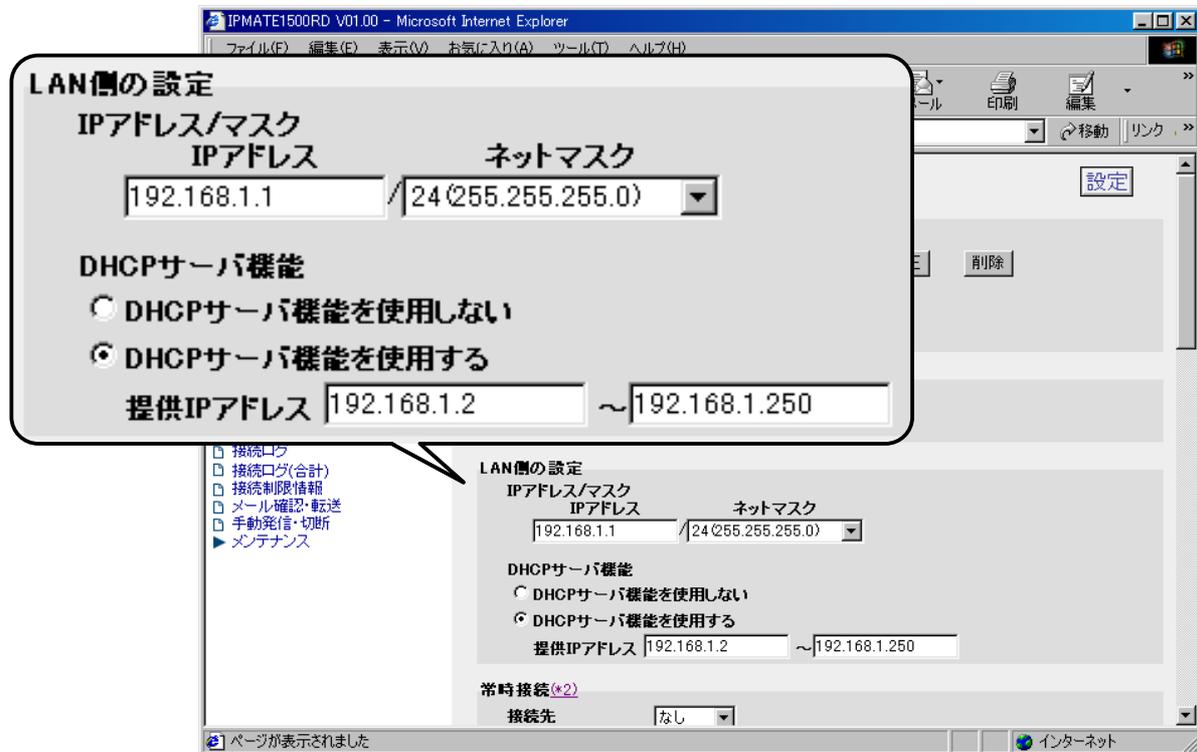
6. 「ISDN / LAN 間接続」画面に戻ります。
引き続き、電話番号の設定を行います。
「電話番号（本機）」にて、次の項目を設定します。

項目	設定例	備考
電話番号	012-333-4444	INS ネット 64 の契約にしてください。



7. LAN 情報の設定を行います。
「LAN 側の設定」にて次の項目を設定します。

項目	設定例	備考
IP アドレス / マスク	192.168.1.1/24 (255.255.255.0)	
DHCP サーバ機能を使用する	チェックする	
提供 IP アドレス	192.168.1.2 ~ 192.168.1.250	



8. LAN2 へのルート情報の設定を行います。
「スタティックルート情報」にて次の項目を設定します。

項目	設定例	備考
宛先ネットワークアドレス	192.168.2.0	
マスク	24 (255.255.255.0)	
ゲートウェイアドレス	0.0.0.0	
メトリック	1	
接続先	1 : LAN2	

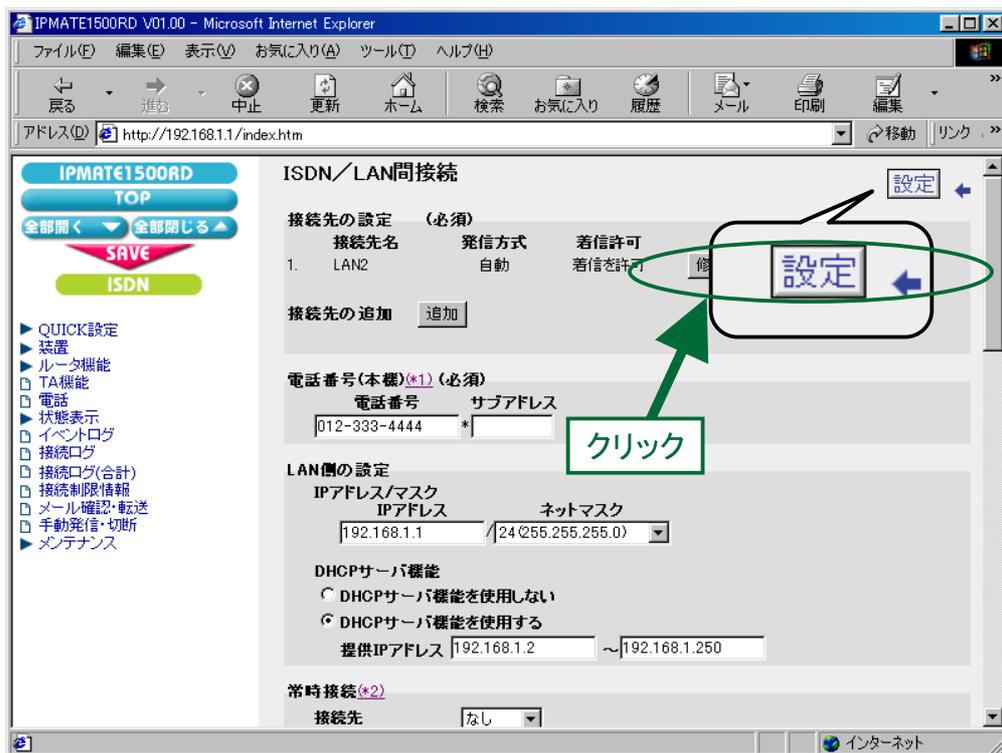


スタティックルート情報

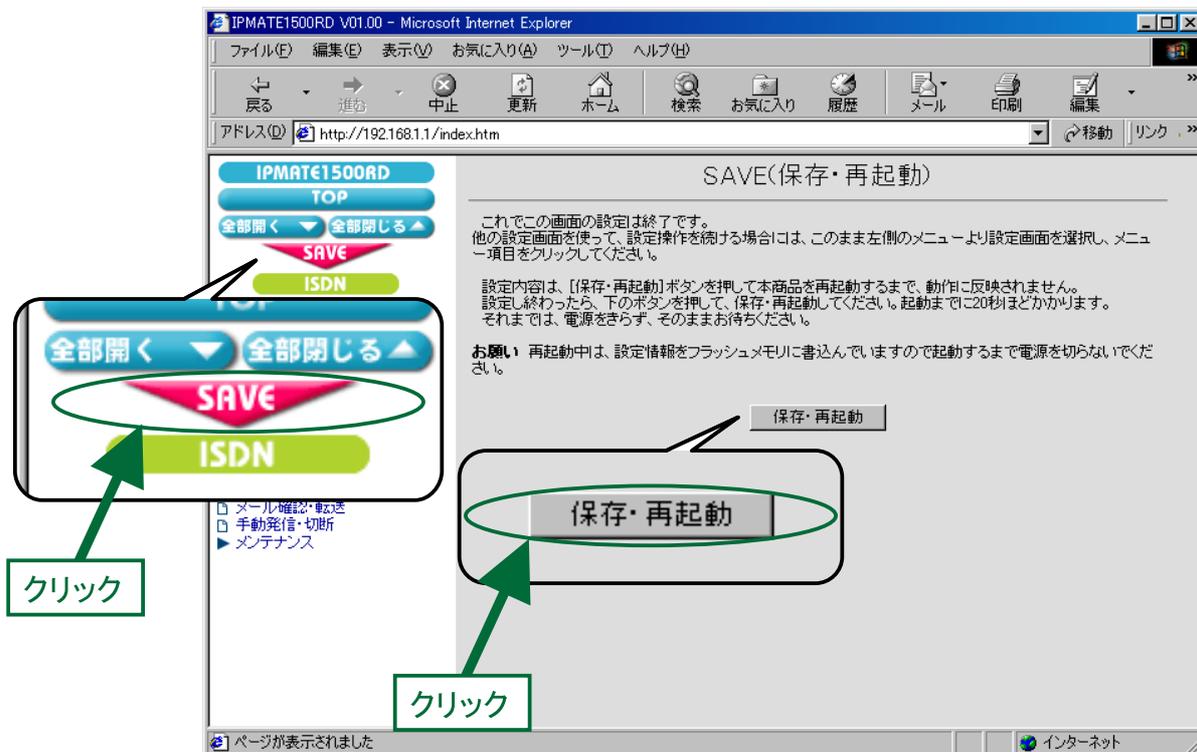
宛先ネットワークアドレス	マスク	ゲートウェイアドレス	メトリック	接続先
192.168.2.0	/ 24 (255.255.255.0)	0.0.0.0	1	1:LAN2
	/ 24 (255.255.255.0)		1	なし
	/ 24 (255.255.255.0)		1	なし
	/ 24 (255.255.255.0)		1	なし
	/ 24 (255.255.255.0)		1	なし
	/ 24 (255.255.255.0)		1	なし
	/ 24 (255.255.255.0)		1	なし
	/ 24 (255.255.255.0)		1	なし

接続先にあるネットワークへのルートを設定してください
【ルータ機能/ルート情報】(スタティック)画面にて、9つ以上のスタティックルート情報を設定することができます。

9. [設定] ボタンをクリックします。
 * 「常時接続」「タイム接続」の設定は不要です。
 初期状態のままお使いください。



10. 再起動画面が表示されます。
 [SAVE] ボタンをクリックし、[保存・再起動] ボタンをクリックすると、再起動されます。
 本商品の液晶ディスプレイに「ISDN READY」または「Layer1 Up」が表示され、POWER ランプが緑点灯したら、設定完了です。



これで LAN1 側の設定は完了です。

● LAN2 側の設定

LAN1 への接続情報の設定を行います。設定の手順は「LAN1 側の設定」と同様なので、ここでは設定例の一覧を示します。

「QUICK 設定」メニュー - ISDN / LAN 間接続 - 接続先の設定

(1) 接続先情報

項目	設定例	備考
No	No1	
接続先名	LAN1	任意の名前を設定します。
接続先電話番号	012-333-4444	LAN1 とあわせて設定してください。
ユーザ ID	Id2	
パスワード	Pw2	

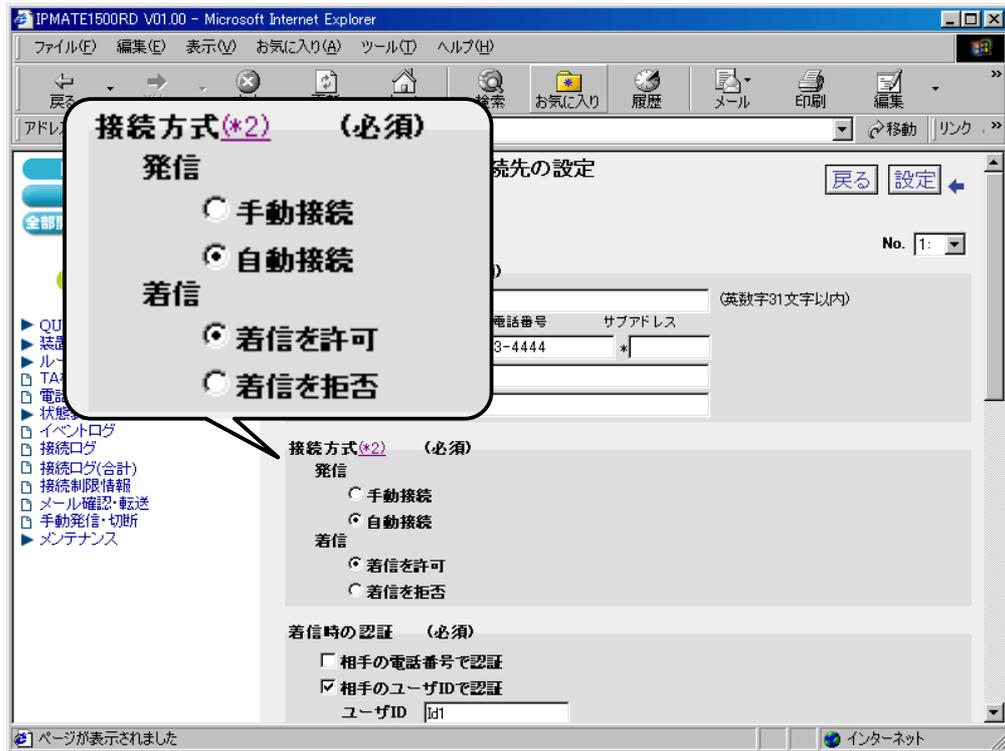
The screenshot shows the web interface for IPMATE1500RD V01.00. The main content area is titled 'ISDN/LAN 間接続接続先の設定'. A dropdown menu labeled 'No. 1:' is highlighted with a callout box. Below it, the '接続先情報(*1) (必須)' form is shown with the following fields:

- 接続先名: LAN1 (英数字31文字以内)
- 接続先電話番号: 012-333-4444 *
- ユーザID: Id2
- パスワード: ***

A larger callout box provides a detailed view of the '接続先情報(*1) (必須)' form, showing the same fields as above.

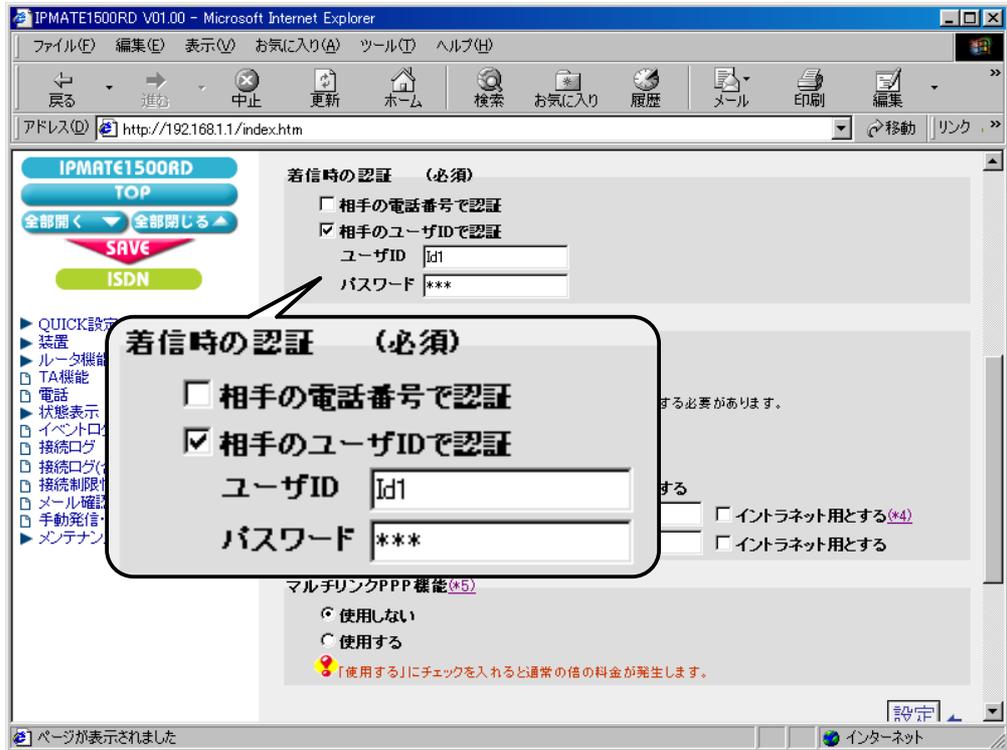
(2) 接続方式

項目	設定例	備考
接続方式 発信	自動接続	
接続方式 着信	着信を許可	



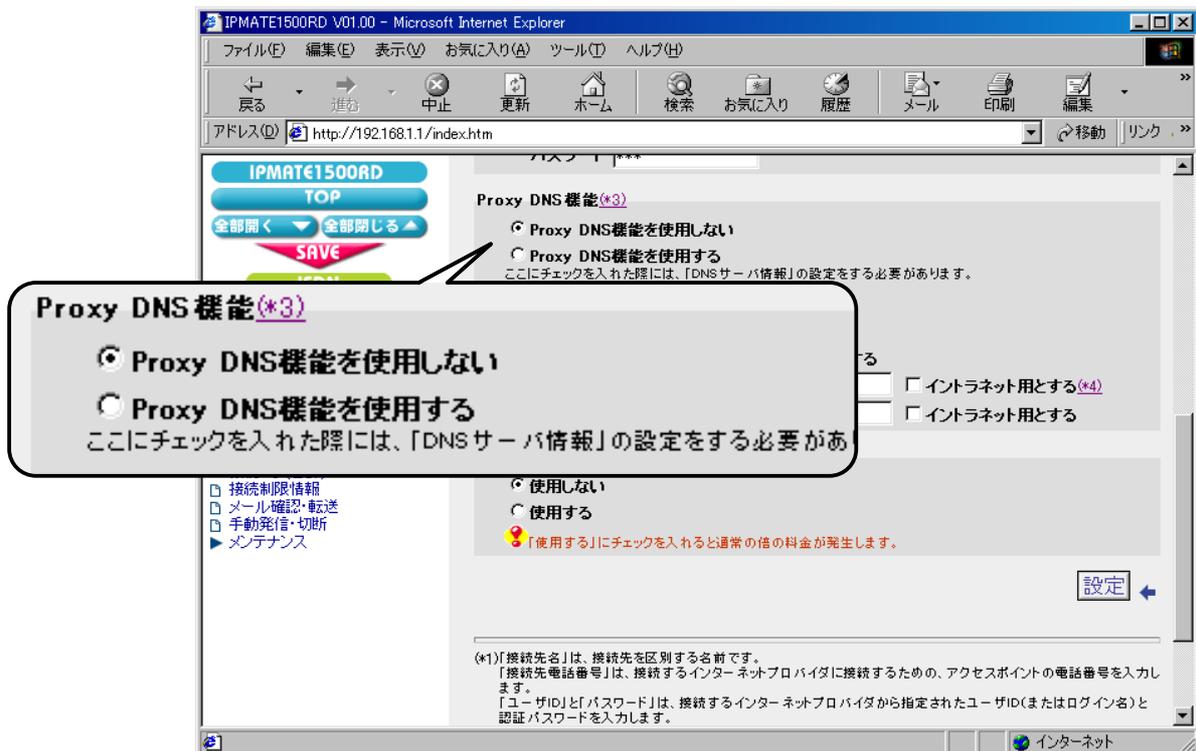
(3) 着信時の認証

項目	設定例	備考
相手の電話番号で認証	チェックしない	LAN1 とあわせて設定してください。
相手のユーザ ID で認証	チェックする	
ユーザ ID	Id1	
パスワード	Pw1	



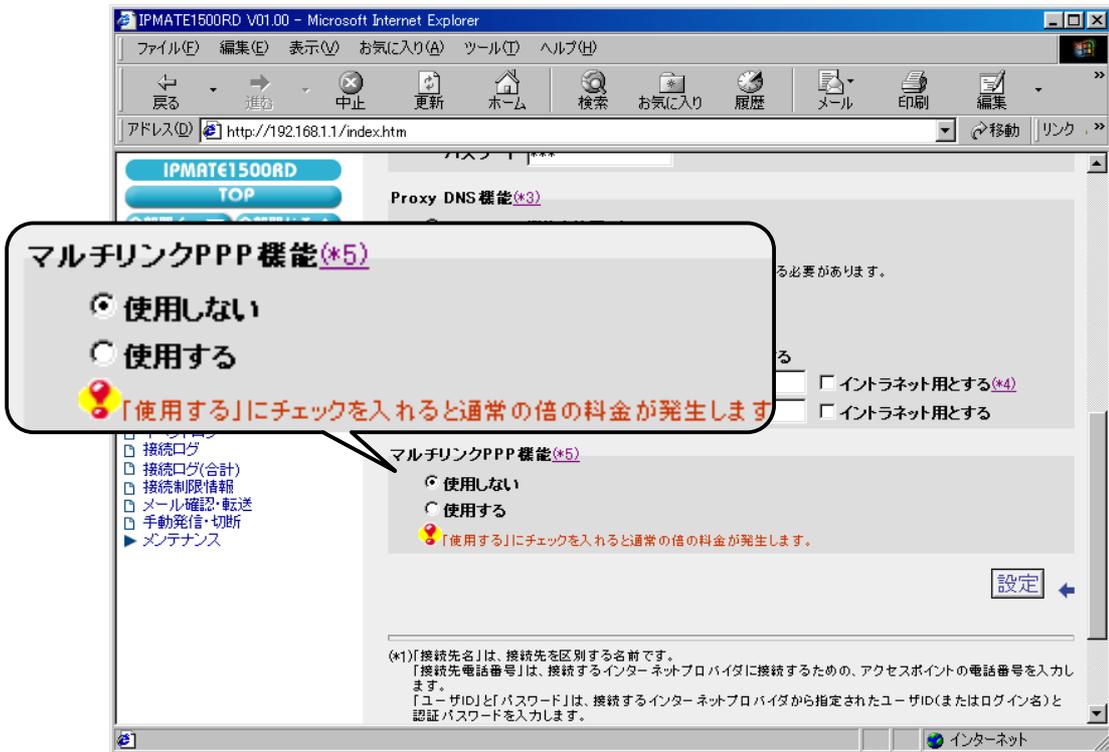
(4) Proxy DNS 機能

項目	設定例	備考
Proxy DNS 機能を使用しない	チェックする	



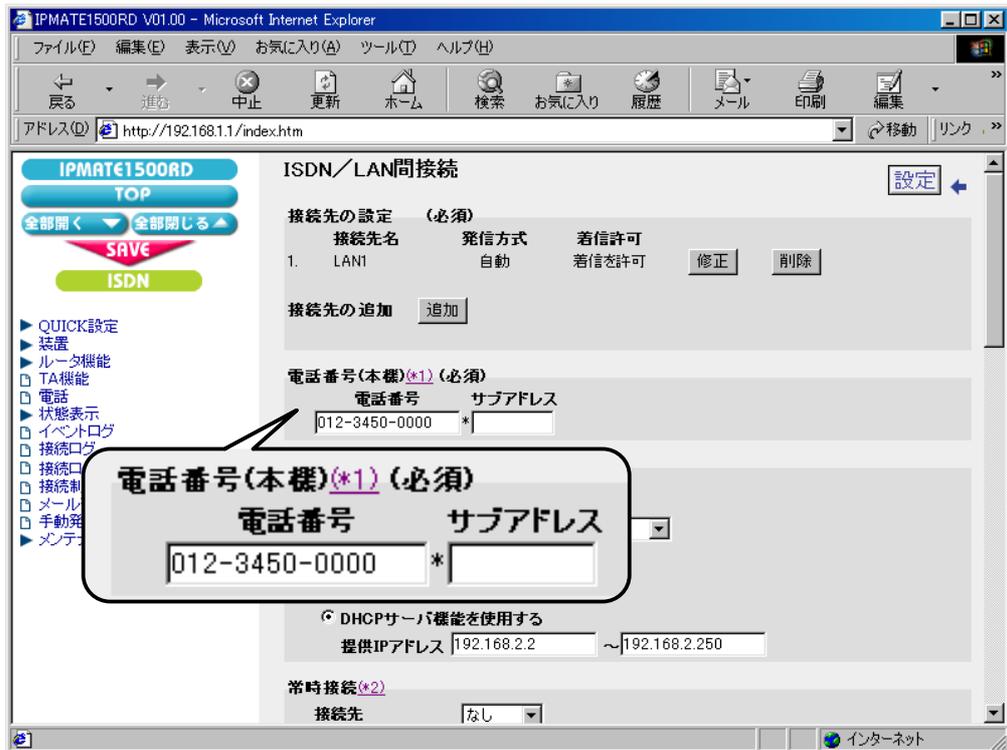
(5) マルチリンク PPP 機能

項目	設定例	備考
マルチリンク PPP 機能	使用しない	



「QUICK 設定」メニュー - ISDN / LAN 間接続 - 電話番号 (本機)

項目	設定例	備考
電話番号	012-3450-0000	INS ネット 64 の契約にしてください。



「QUICK 設定」メニュー - ISDN / LAN 間接続 - LAN 側の設定

項目	設定例	備考
IP アドレス / マスク	192.168.2.1/24 (255.255.255.0)	
DHCP サーバ機能を使用する	チェックする	
提供 IP アドレス	192.168.2.2 ~ 192.168.2.250	

The screenshot shows the 'LAN側の設定' (LAN Side Settings) window in the IPMATE1500RD V01.00 software. The settings are as follows:

- IPアドレス/マスク (IP Address/Mask):** IPアドレス (IP Address) is 192.168.2.1 and ネットマスク (Netmask) is 24 (255.255.255.0).
- DHCPサーバ機能 (DHCP Server Function):** The radio button for 'DHCPサーバ機能を使用する' (Use DHCP server function) is selected.
- 提供IPアドレス (Provided IP Address):** The range is 192.168.2.2 ~ 192.168.2.250.
- 常時接続 (常時接続) (Always Connected):** The connection destination is set to 'なし' (None).

The background window shows a menu on the left with options like '接続ログ' (Connection Log), '接続制限情報' (Connection Limit Information), and 'メンテナンス' (Maintenance). The main window has a '設定' (Settings) button and a '削除' (Delete) button.

「QUICK 設定」メニュー - ISDN / LAN 間接続 - スタティックルート情報

項目	設定例	備考
宛先ネットワークアドレス	192.168.1.0	
マスク	24 (255.255.255.0)	
ゲートウェイアドレス	0.0.0.0	
メトリック	1	
接続先	1 : LAN1	

The screenshot shows the IPMATE1500RD web interface in Microsoft Internet Explorer. The main window displays the 'スタティックルート情報' (Static Route Information) section. A callout box provides a detailed view of the configuration table.

宛先ネットワークアドレス	マスク	ゲートウェイアドレス	メトリック	接続先
192.168.1.0	/ 24 (255.255.255.0)	0.0.0.0	1	1:LAN1
	/ 24 (255.255.255.0)		1	なし
	/ 24 (255.255.255.0)		1	なし
	/ 24 (255.255.255.0)		1	なし
	/ 24 (255.255.255.0)		1	なし
	/ 24 (255.255.255.0)		1	なし
	/ 24 (255.255.255.0)		1	なし
	/ 24 (255.255.255.0)		1	なし
	/ 24 (255.255.255.0)		1	なし

接続先にあるネットワークへのルートを設定してください
[ルータ機能/ルート情報](スタティック)画面にて、9つ以上のスタティックルート情報を設定することができます。

これで LAN2 側の設定は完了です。

Windows での LAN 側の端末との資源の共有

LAN1 側の端末と LAN2 側の端末間での資源の共有をさせるための設定について説明します。

- LAN1 側 LAN2 側それぞれの端末に、TCP/IP プロトコルのインストール（「本商品を接続する前の準備<パソコンでの設定>」参照）を行います。
各端末に、TCP/IP プロトコルをインストールします。
複数のプロトコルがインストールされている場合は、「TCP/IP」を標準プロトコルに設定します。

- IP アドレスとホスト名の対応付けを行います。
端末で、接続先の IP アドレスとホスト名を対応付けます。ここでは、Windows の場合について説明します。

例) LAN1 側端末に LAN2 側端末 (192.168.2.2) を設定する場合

c:\windows\hosts および c:\windows\lmhosts のファイルに次の記述を追加します。
192.168.2.2 lan2

例) LAN2 側端末に LAN1 側端末 (192.168.1.2) を設定する場合

c:\windows\hosts および c:\windows\lmhosts のファイルに次の記述を追加します。
192.168.1.2 lan1

- ・ 指定するホスト名は、各端末に設定しているコンピュータ名にしてください。
- ・ 設定後、リモート端末から LAN 側の端末へ検索する方法は、次のとおりです。

1.「スタート」→「検索」→「ほかのコンピュータ」

2.検索するコンピュータ名を入力（例）lan1

3.対象の端末が見つかればクリックして共有リソースにアクセス